

報告第1号

平成27年度

事業報告書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

総括

平成27年度は、5月30日に事故が発生し、約1ヶ月半に渡って、運航を停止し、事故処理対応および安全対策の再確認・新たな対策を講じたことから、飛行活動実績が大幅に減少した。これを受けて、体験飛行の回数も大幅に減少した。体験飛行の申し込みに関しては、事故後も多くの問い合わせがあったことから、その要望は多く、今後もさらなる需要開拓を図る必要がある。

また、滝川市による簡易宿泊施設の安全点検で、研修棟の不具合が指摘され、その対策工事のために、4ヶ月間宿泊施設の使用停止を余儀なくされた。しかし、この改修により、正式に簡易宿泊施設として許可され、使用者がより安心して宿泊することができるようになった。

航空安全

5月30日（土）に、滝川グライダーミーティングに参加していた当協会会員が、たきかわスカイパーク南西10kmにある神内ファーム敷地内への着陸を誤り、死亡した。これを受けて、グライダー等の機材・設備類の総点検、飛行の際の安全対策の再確認及び点検手順の確立を図り、運航を再開した。

5月30日（土） 事故発生

6月27日（土） 「たきかわスカイパークにおけるグライダー運航に関する安全策を検討する有識者会議」（有識者会議）開催

7月 1日（水） 有識者会議副委員長から会長に報告書を手交
臨時理事会において、愛好者によるグライダー運航再開を承認

7月 2日（木） 滝川市長に運航再開を報告
記者会見で事故の状況、安全対策、運航再開を報告

7月 5日（日） 愛好者による運航再開

7月14日（火） 有識者会議委員からの、運航再開後の活動に関する評価結果を基に、有識者会議委員長から会長に運航に問題がない旨の報告

7月16日（木） 会長から市長に体験搭乗など、滝川スカイパークの全面的な再開を報告

7月25日（土） 体験搭乗再開

今後は、今回策定した安全対策を遵守し、無事故運航に努める。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

グライダー・モーターグライダーの運航は、4月13日（月）～11月16日（月）まで行った。運航実績は、以下のとおりであった。（括弧内の増減数は、対前年比）

- ・ 運航日数：142日（27日減）
- ・ 運航割合（運航した日数/運航期間の日数）：67%（17%減）
- ・ グライダーの飛行回数：2,720回（414回減）
- ・ グライダーの飛行時間：1,503時間（96時間減）
- ・ モーターグライダーの飛行回数：369回（250回減）
- ・ モーターグライダーの飛行時間：412時間（296時間減）

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクールを実施した。

- ・ サマートレーニングコース

実施回数：6回

延べ参加人数：283名（25名減）

飛行回数：721回（87回減）

飛行時間：379時間（168時間減）

- ・ ウィークリーコース

シーズン中の平日に随時実施

飛行日数：42日（5日減）

- 飛行回数：366回（177回増）
 - 飛行時間：353時間（185時間増）
 - ・ウィークエンドコース
 - シーズン中の土日祝日
 - 飛行日数：58日間（9日減）
 - 飛行回数：1,321回（123回減）
 - 飛行時間：993時間（181時間減）
 - ② グライダーキャンプ
 - #1 大阪大学等OB会
 - 7月27日（月）～7月31日（金）
 - 参加人数：のべ67名
 - 飛行回数：127回（28回減）
 - 飛行時間：48時間（51時間減）
 - #2 ユースキャンプ（大学生・新社会人対象）
 - 8月10日（月）～8月14日（金）
 - 参加人数：のべ77名（48名増）
 - 飛行回数：108回（62回増）
 - 飛行時間：160時間（92時間増）
2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援を行った。
- 自社機を含む常駐機 27機
 - 外来機 2機
 - 出張整備 1機
- また、無線局登録検査等事業者として、自社機を含む常駐機の航空機局無線機検査業務を実施した。
3. 特定操縦技能審査を実施した。
- 審査件数：34名（グライダー29名、軽飛行機5名）
4. 滝川グライダーミーティング2015を実施した。
- グライダー操縦技術の向上、およびクロスカントリーを実施する上での基本的知識・技術の習得を目的とした講習会を実施した。なお、講習会最終日に事故が発生したため、当初予定していたクロスカントリー競技会は中止した。
- 開催期間：5月23日（土）～5月30日（土）
 - 参加人数：延べ60人
 - 飛行回数：87回
 - 飛行時間：153時間
5. 各種受験に関する指導を行った。
- ① 実地試験対策講習会の開催
 - 10月13日（火） 自家用操縦士（滑）上級実地試験に1名が受験し、合格した。（昨年同数）
 - ② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験
 - クラブ会員及びスクール参加者に対して、19件実施した。（7件増）
 - A章 8件
 - B章 2件
 - C章 2件
 - 銅章 1件
 - 銀章 1件
 - 5時間飛行 3件
 - 獲得1,000m 1件
 - 距離50km 1件

6. アシスタントインストラクター制度（新設）

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、インストラクターの養成を推進するための奨励制度を設定した。
今年度は、対象者がいなかった。

7. 各種講習会を実施した。

① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会は、開催していない。

② 北海道滑空協会指導者講習会に講師を派遣した。

テーマ：異常姿勢からの回復操作の実施

実施期間：10月31日（土）～11月1日（日）

講師：清水拓智

参加人数：7名

飛行回数：7回

講習内容：曲技機を使って、スピンからの回復操作について、実地で体験した。

8. 国際交流事業の推進

① ニュージーランド国に教官1名を派遣した。

派遣者：日口裕二

期間：平成27年12月23日（水）～平成28年1月17日（日）

派遣先：ニュージーランド国オマラマ滑空場

② オーストラリア国より曳航機パイロット2名を招聘した。

招聘者：ロイド・バウム氏（12週間）

ジョン・ブライス氏（8週間）

③ 北海道におけるグライダーのクロスカントリーに関する可能性をさらに広げるために、世界のトップレベルのグライダーパイロット2名を招聘した。

招聘者：ギャビン・ウィルス氏（ニュージーランド国、オマラマ滑空場）

5月12日（火）～6月12日（金）

滝沢信三氏（オーストラリア国、ナロマイン滑空場）

5月22日（金）～6月1日（月）

④ ヨーロッパ各国のグライダークラブを視察し、教育・運営状況に関する情報、ノウハウを得るため、たきかわスカイパークを運営・管理している滝川市職員をヨーロッパに派遣を要請し、実施された。

期間：5月13日（水）～6月3日（水）

派遣先：イギリス、ドイツ、フランス、ポーランド

派遣者：清水拓智

9. 国内滑空団体との連携

全国クラブミーティングに参加し、各クラブが抱える課題や、我が国の滑空界の底上げのための提案などについて、意見交換を行った。

・第2回全国クラブミーティング

幹事クラブ：（公社）長野グライダー協会

開催期間：6月20日（土）～21日（日）

開催場所：長野県長野市

参加者：日口裕二

・第3回全国クラブミーティング

幹事クラブ：（公社）日本グライダークラブ

開催期間：11月28日（土）～29日（日）

開催場所：栃木県栃木市

参加者：日口裕二

清水拓智

II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）

1. 市内・外の学校を対象とした体験学習等の受入

- ① 市内全小学校および新十津川小、空知太小の4～6年生を対象とした軽飛行機による体験搭乗は、中止した。
- ② 市外の小中学校から生徒・児童の施設見学を受け入れた。（7校421名）
空知管内の中中学校から依頼されて、キャリア教育推進事業の一環としての職場体験学習を受け入れた（3校4名）。
また、総合学習の一環として、文書による質問に対する対応を、市内中学校1校に対して行った。

2. こどもの日特別企画「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内のこどもたちを対象に、体験搭乗や紙飛行機教室を実施した。

開催日：5月5日（火・祝）

体験飛行応募総数：143名（前年比22名増）

体験者数：52名（前年比1名減）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

- ① ジュニアグライダークラブは、参加者が少ないため休止している。
- ② 今年度参加した青少年会員は2名(前年同数)であった。2名とも着実に技術を向上させた。

4. ユース会員（新設）

学生および大学を卒業した後も社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を支援するため、「ユース会員」制度を創設した。昨年度までの学生会員および26歳までの学生・社会人が、ユース会員として登録された。

ユース会員数：33名

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

- ① 滝川ミーティングを実施し、ヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー（MG19）の修復作業を行った。
回数：2回
日数：11日
延べ参加人数：40人
- ② 修復中のMG19は、耐空証明取得までには至らなかったが、外観は完成したため、ミニモアおよびたきかわスカイパーク格納庫に展示している協会所有のヴィンテージグライダーとともに、一般市民に公開するため、「ヴィンテージグライダーフェスティバル」を実施した。
開催日時：10月11日（日）10:00～
10月12日（月・祝日）15:00
来場者数：430名（10月11日（日）225名、10月12日（月）205名）
事業内容：a. ヴィンテージグライダー(6機)の展示
b. ヴィンテージグライダーパネル展
c. 風の谷のナウシカ飛行具に模した軽量飛行機M-02Jの展示
d. 青森県立三沢航空科学館に保管されている複葉グライダー（HAYABUSA）の展示及び模擬操縦体験
e. ミニモアの展示飛行を計画していたが、当日は道内各所に雷雨があり、曳航を依頼していた旭川航空協会のモーターグライダーが飛来できなかったため、中止した。
- ③ イベントにおけるヴィンテージグライダーの展示については、予定していたイベント「サマースカイフェスタ2015」が中止となったため、行わなかった。
- ④ 今年度実施したMG19の復旧作業の報告、およびヴィンテージグライダーフェスティバルの開催報告を予定していたが、実施しなかった。
- ⑤ VGAとの連携については、連携できる関係を構築するには至っていない。

- ⑥ 航空動態博物館内のヴィンテージ図書コーナーの関係資料の分類・整理・公開充実を図った。

6. 航空青少年団体との連携

航空青少年団体の受け入れはなかった。

7. イベント支援

道内で開催されたイベントには参加しなかった。

8. スカイパーク施設の管理・運営

- ・平成26年4月1日（火）に滝川市と締結した「滝川市航空科学センターの管理運営に関する協定」に基づき、施設の指定管理業務を行った。

期間：平成26年4月1日（火）～平成29年3月31日（金）

- ・会員の宿泊施設である研修棟の防火改修を行い、簡易宿所として保健所の営業許可を取得した。
- ・研修棟の外壁・屋上修繕については、上記防火改修を優先したため、今年度は実施しなかった。

III 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

1. サマースカイフェスタ2015の開催

サマースカイフェスタ2015は中止した。

2. 「OpenSky4.0」（「風の谷のナウシカに出てくる架空の飛行機メーヴェを実機として作る」プロジェクト）展示会の支援は、展示を予定していたサマースカイフェスタ2015を中止したことに伴い、実施しなかった。

3. 観光客等の受入

- ① ツアー企画提携会社4社のツアー参加者計86名（前年比159名減）の体験搭乗を実施した。
- ② 海外からインターネットでの体験搭乗申し込みを積極的に受け入れた。
外国人体験搭乗者数：22名（香港、中国、USA、台湾、フィリピン、ロシア）
（前年比16名減）
- ③ H26年度に美唄・富良野・ニセコのスカイスポーツ体験事業者と合同で作成したパンフレットを、イベント会場、リリエントール、札幌駅の観光案内所および滝川市内各施設等で配布した。
- ④ インターネット経由で158名（前年比87名減）の体験搭乗依頼があった。

4. グライダー等による体験飛行会の実施

- ① 滝川市民を対象とした体験搭乗会を実施した。
体験者数：139名（前年比152名減）
実施期間：9月3日（木）～9月5日（土）の3日間
- ② 一般市民を対象とした体験搭乗を実施した。
参加人数：495名（前年比500名減）
実施期間：4月24日（金）～11月7日（土）
- ③ 滝川一心会の体験飛行会の受け入れを行った。
参加人数：6名
実施期間：9月25日（金）、10月17日（土）
- ④ 滝川市ふるさと納税におけるお礼の品として、グライダー体験飛行を提供し、寄附をされた方々に搭乗券を送付した（10月31日現在）。
 - ・グライダー体験飛行10分（空知平野パノラマコース：3万円以上の寄附）：3名
 - ・グライダー体験飛行20分（山岳眺望コース：5万円以上の寄附）：2名
 - ・グライダー体験飛行30分（日本海眺望コース：10万円以上の寄附）：5名

5. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援
「そらぷちキッズキャンプ」に参加している子供たちやスタッフにスカイスポーツを体験してもらうため、体験搭乗券を提供した。

IV スカイスポーツに関する調査研究事業(公益目的事業4)

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

- ① ホームページ、フェイスブックによる情報発信に努めた。
② 体験飛行のパンフレットの配布に努め、観光業者との連携を図った。
・体験飛行パンフレットのリニューアルを行った。
・11月30日(月)に(一社)北海道体験観光推進協議会主催の北海道観光商談会に出席し、観光事業者にグライダー体験や当協会事業について紹介した。
③ ヨーロッパ視察
前掲(I-8-④)

2. 研究機関との共同研究

北海道大学低温科学研究所が獲得した科学研究費補助金を活用して、協会社屋屋上および駐車場に設置されている大気観測装置と、グライダーに搭載した観測装置を用いた大気観測を行った。

- ・飛行回数：9回
- ・飛行時間：11時間

V フライトサービス局による航空情報提供事業(公益目的事業5)

計画通り実施した。

開局期間：4月1日(水)～11月21日(土)

VI 利用者への施設提供事業(その他の事業1)

予定通り実施した。

管理部門

1. 会員

非会員のサマートレーニングコース参加者に入会の勧誘を行った。また、体験搭乗者やイベント等の来場者等に、グライダー活動の説明を行い、勧誘に努めた。

会員の入退会状況

2016年3月31日現在

会員種別		H23	H24	H25	H26	H27
正会員	個人	176 16 5	172 15 19	170 7 9	147 7 30	135 10 14
	法人	17 1 1	16 0 1	16 0 1	16 0 0	17 1 0
特別会員	個人	4 2 2	4 0 0	4 0 0	4 0 0	3 0 1
	団体	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0	2 0 0
小計		199	194	192	171	157

小数字 左:入会者数、右:退会者数

名誉会員		2	2	2	2	2
賛助会員	個人	7	10	11	11	11

	法人	4	7	6	6	6
連絡会員		3	2	2	1	1
学生会員/ユース 会員		10	12	17	22	27
青少年会員		4	1	1	2	2
総計		229	228	231	215	206

2. 理事会・総会等

・第1回理事会

開催月日：平成27年4月23日（木）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認、平成26年度事業報告書及び付属明細書の承認、平成26年度財務諸表及び関連書類の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。
出席監事の数2名。

・第2回理事会

開催月日：平成27年5月15日（金）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：理事の職務の執行状況

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名
出席監事の数2名

・第1回総会

開催月日：平成27年5月15日（金）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成26年度事業報告書及び付属明細書、平成27年度事業計画書及び収支予算案

決議事項：新規加入会員及び退会の承認、平成26年度財務諸表および関連書類の承認、役員を選任の承認

出席等：定足数83、出席会員議決数100。出席理事7名。出席監事2名。

・臨時理事会（第1回）

開催月日：平成27年5月15日（金）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

決議事項：会長・副会長・常務理事の選任及び承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。
出席監事の数2名。

・臨時理事会（第2回）

開催月日：平成27年7月1日（水）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：有識者会議の報告、Cuロッジ改修の報告

決議事項：グライダーの飛行再開の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。
出席監事の数2名。

・第3回理事会

開催月日：平成27年11月26日（木）

場 所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：平成27年度事業の執行状況、平成27年度予算の執行状況、

職務の執行状況

決議事項：新規加入会員及び退会者の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。
出席監事の数2名。

・第4回理事会

開催月日：平成28年3月22日（火）

場所：たきかわスカイパークハブハウス1F会議室

報告事項：新規加入会員及び退会者、平成27年度決算見込

決議事項：平成28年度事業計画書及び収支予算書の承認、特定資金の取り崩し方針の承認、役員を選任案の承認、規定の変更案の承認、「定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等」の承認

出席等：議決に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名。
出席監事の数2名。

3. 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ上および管理棟掲示板で定款、組織図、役員名簿、事業報告、財務諸表、事業計画書、予算書など法人運営に関する情報を公開した。

4. 業務執行体制の整備と強化

理事9名の体制で業務管理体制を維持するとともに、ボランティアスタッフの協力の下、各種事業を円滑に実施した。

5. その他

○M-02Jの試験飛行の支援を行った。

飛行日数：6日

ジャンプ飛行回数：30回

○下肢障害者に対する操縦訓練を行った。

飛行日数：6日

飛行回数：12回

飛行時間：6時間

○「サマースカイフェスタ2016」に関し、「北門信用金庫まちづくり基金」事業に応募し、採択された。

助成金贈呈式 11月27日（金）

○航空機燃料の国内生産中止に伴い、価格が高騰しているため、さまざまなルートで輸入燃料の購入を図り、経費の削減に努めた。

※平成27年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年 4月

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会